

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

健康で安心感のある暮らし									
分類	発言順	会派名	質問者	大項目	中項目	小項目			
保健・医療	①	日本共産党	伊藤 芳則	2 国民健康保険について	(1) 本市における国民健康保険税の今後の見直しについて	ア) 今年度の保険料負担増をどのようにとらえるのか。 イ) 来年度の保険料はどのようになるのか。			
	⑥	清友会	保美 治	1 地球温暖化による私たちの暮らしについて	(1) 熱中症の現状と市民への啓発について	ア) 啓発の効果はどのように考えているのか。 イ) 熱中症搬送者数に対する見解は。			
						(2) 人獣共通感染症（ワンヘルス）による被害状況と予防法に関する情報共有と結果について	ア) 三次市内のマダニの生息状況（分布状況）をどのように把握しているのか。また被害が多い地域や場所はどこか。 イ) マダニによる被害件数（咬傷事例、感染症事例）は。また、どのような症状の被害が多いか。 ウ) 被害者の年齢層や職業は。 エ) 市としてどのようなマダニ対策を実施しているのか。また、対策の効果はどの程度か。 オ) 市民へのマダニに関する情報提供はどのように行われているか。また情報提供の内容は十分行われているか。情報提供の対象者や方法は適切か。		
					(3) 今後の対策について		ア) 情報提供の強化 イ) 対策の強化 ウ) 連携の強化		
							2 健康保険証の期限切れとマイナンバーカードについて	(1) 健康保険証の有効期限とマイナ保険証への移行について	ア) 国民健康保険（国保）と後期高齢者医療制度の加入者は7月31日に健康保険証が有効期限を迎えたが、今後どのような手続きが必要か。 イ) マイナ保険証を持たない人はどうなるのか。 ウ) 75歳未満の人で、すでにマイナ保険証の利用登録をしている人が後期高齢者医療制度に移行した場合はどうなるのか。
									(2) マイナ保険証利用の注意点について

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

保健・医療	⑥	清友会	保実 治	2 健康保険証の期限切れとマイナンバーカードについて	(3) 健康保険証の有効期限切れ後の対応について	ア) 国保の加入者を対象に、期限切れの健康保険証や、マイナ保険証の保有者向けに送付された「資格情報のお知らせ」という書類でも利用できるのか。 イ) 12月に期限を迎える健康保険組合の加入者も同じ対応か。
	⑨	明日への風	徳岡 真紀	1 こどもたちを熱中症から守るための取組について	(3) 登下校時の熱中症リスク回避の取組について	エ) 企業や地域と連携しクーリングシェルターの設置の拡大と周知の必要性があるかと考えるが予定はあるか。
	⑫	公明党	片岡 宏文	1 医療的ケアが必要な方へのサポートについて	(2) アピアランスケアの現状等について	ア) 広島県のアピアランスケア事業の本市民の利用状況を伺う。 イ) 県内の他市町では独自での助成事業を行っているが本市でのお考えを伺う。
福祉	－					
多文化・共生	－					

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

安全で快適な生活環境						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
自然環境	③	三輝会	細美 克浩	2 使用されていない公共施設の再活用について	(1) 旧学校校舎・旧保育所の再活用（動物愛護施設としての活用）について	ア) 現在使用されていない旧小学校や旧保育所を猫のシェルターとして再活用する考えはないか伺う。
						イ) 動物愛護のNPO法人が結成され、利用の申し出があった場合、施設整備への助成の考えは可能か伺う。
						ウ) 使用料等免除の考えは。
	⑧	明日への風	藤岡 一弘	3 持続可能なごみ処理について	(1) 一般廃棄物広域処理について	ア) この度の一般廃棄物広域処理の検討にあたり、市民生活に与える影響について、どのように把握をされているのか。また、その影響への対策をどのように考えるか伺う。
						イ) 広域処理にあたり、クリーンセンターの様なごみ焼却施設や中継施設の整備が必要となるが、現時点で整備費が208億円になると想定されている。整備費負担額は人口按分となることから、2市1町の中で、最も人口の多い三次市の負担額が大きくなると考えられる。ごみ焼却施設や中継施設の整備にあたり、国からの交付金など財源確保について、どのように計画していく考えなのか伺う。
					(2) ごみ排出削減の取組について	ア) 三次市のごみ排出削減にむけてどのように取組むのか。ごみ排出量の削減に向けての課題をどのように捉えているのか伺う。
イ) 三次市環境基本計画の中にも、ごみの適正処理の推進についての方向性が示されている。また、ごみ処理基本計画には「市民一人一日平均排出量は、平成27年度の865gをピークとしてほぼ横ばいの傾向にあり、今後、より一層のごみ排出抑制（ごみ排出量自体の減量）の推進が必要である。」とも示されている。今回の広域処理の協議にあたり、クリーンセンターの焼却施設の維持費は「ごみの量の按分」により決定されることから、ごみの減量については、環境面や財政面としても、優先的に取り組むべきではないかと考える。今後のごみ排出削減への取組の考えを問う。						
⑫	公明党	片岡 宏文	3 農業振興について	(2) Jクレジット制度の導入について	ア) 本市でのJクレジットの活用状況と今後の予定について伺う。	
					イ) 水稲栽培における中干期間の延長におけるプロジェクトを新潟市が運営管理者として登録されたが、本市でも同様の取り組みができないか伺う。	
生活基盤	②	三輝会	弓掛 元	1 三次地区の諸問題について	(1) 危険空き家問題への対応について	-
				2 市内タクシーの夜間営業について	-	ア) 市内でのタクシー会社の夜間営業停止が現実味を帯びているが、対策についての考えを問う。
	③	三輝会	細美 克浩	4 市道の除草作業への報償費について	(1) 報償費の見直しについて	ア) 地域団体等が行う道路除草作業に対する謝礼として支給される報償費について、合併以降1平米当りの単価が見直されていない中、燃料費高騰に伴い改定する考えはないか。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

生活基盤	⑦	明日への風	掛田 勝彦	3 地域の公共交通で支える豊かな暮らしづくりについて	(1) 三次市地域公共交通計画の検証と今後について	ア) 現行の三次市地域公共交通計画には、計画期間の（90ページ）最終年度には人口や社会情勢等の変化を踏まえた上で検証を行い、次期の地域公共交通計画を策定するとされている。また、P D C Aサイクルで回すことが示されている。この5年間の計画期間の中で、計画通り進められたものと、進められなかったものを問う。
						イ) 前述の関連質問になるが、特にP D C Aが現行で動いているならCの部分点が点検と評価になる。評価ができていないと改善もできないと思う。計画の71ページから始まる「A」から「H」の評価指標をもって評価されると推測する。この指標が達成されたら本市が課題としている地域課題が改善されるのを問う。
						ウ) 一例をあげると、公共交通の利用者数の目標値は、19.3万人から18.5万人という減少の目標としている。これらに対して公的負担額も同等の目標としている。同等のサービスで利用が減少していきただけであれば消滅するだけである。負担額を増やしてサービス水準をあげて、利用を増やしていくほうが得策だと考える。本市の考えを問う。
						エ) 自家用車が運転できる間は生活の自由度が高い。しかし、加齢とともに心身機能等も衰えていき、運転免許証を返納せざるをえない。移動の自由が制限されていくと、外出機会の減少やひいては意欲の低下につながる可能性もある。高齢者等、誰もが安心して暮らせるための「移動手段を確保する」が目標とされているが、実際にはどのような方法で保障していくのか。今後の具体的な方針や取組について問う。
						オ) 三次市民バスの新たなプランについて考えてみると、現在の交通システムが住民の求めている「便利さ」には十分に答えられていないと感じている。「ドア・ツー・ドア」で、デマンド交通と乗り合いタクシーの組合せで考えていくしかないと思う。さらに運行エリアを拡大することで、地域交通の利便性をもっと高めることができると考える。三次市民バス等の住民に最も身近な地域内の生活交通の整備・改善をしていく考えがあるのか。具体的なビジョンやプランを問う。
						カ) 免許の返納後に公共交通を利用するような声もあるが、これらは未来の話であり実際はどうかはわからないのが実態ではないだろうか。そこで、「免許返納後に備える」のではなく「免許返納の練習をしておく」ことが大切ではないだろうか。「バスの乗り方教室」の逆の発想で「自家用車から降りる練習」として「免許返納準備プログラム」を実施してみようか。路線バスや三次市民バスのような地域の公共交通の利用促進についての考えを問う。また、利用促進のために認知度の向上について、広報・利用案内について本市の考えを問う。
						キ) 中山間地域は、都市部と比べて人的・物的なりソース（資源）が限られている。地域の産業の維持・発展を図るために交通事業者など、地域を支える事業への投資が重要である。観光面でも交通事業者は重要なインフラである。「市内の観光施設で、一定額以上の買い物をした観光客に、タクシー利用の補助券を配布する」などの取組は交通事業者の利用促進に加え、観光消費の拡大にもつながると考える。また、観光施設へのアクセス方法を積極的に情報発信することで、タクシーの利用機会を増やす支援も効果的ではないだろうか。本市の観光戦略の中で交通事業者への支援と利用促進についての考えを問う。
						ク) 公共交通へ投資をすることで、市外からお金を引っ張ってくることはできないのだろうか。一方で、公共交通は市内の移動に限らず、市外とのアクセスを強化することで定住促進や企業誘致といった外部からの投資や人口の流入を促すツールになると考える。（茨城県境町の実例紹介）このように地域内交通だけでなく、外部との接続性を高めることで、公共交通そのものが本市への投資や人の流れを生み出す仕組みになると思う。要は、交通を単なる行政サービスとしてではなく「本市に価値をもたらす投資」として活用していくことについての本市の考えを問う。
防災減災・安全	⑤	清友会	重信 好範	1 スマートフォンやインターネットによる被害防止対策について	(1) 本市のスマートフォンやインターネット利用の現状等について	ア) スマートフォンやインターネット利用による被害の把握について問う。
						イ) 被害にあった場合の対応について問う。
						ウ) スマホ教室などでの情報提供や周知について問う。
						ア) 教育現場での相談体制について問う。
(2) 教育現場における対策について	ア) 教育現場での相談体制について問う。					
(3) インターネット上での誹謗中傷などへの対策について	ア) 人権侵害の防止に向け、条例制定の考えはないか問う。					

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

防災減災 ・安全	⑥	清友会	保実 治	3 災害時の避難所におけるペットの対応について	(1) 本市でのペット同行避難に関する諸課題について	ア) 避難所でのペットの受入マニュアルは。 イ) 課題解決のために、どのような対策を考えているのか。（衛生管理・アレルギーを持つ人への配慮など） ウ) 市民への情報提供はどのように行っているのか。 エ) 獣医師会や動物愛護団体との連携対策はどのように行っているのか。 オ) 「ペット防災ハンドブック」の作成と飼育者への配付を。
	⑧	明日への風	藤岡 一弘	1 水難事故防止の取組について	(1) 水難事故発生の対策について	2025年6月に警察庁が発表した「令和6年における水難の概況等」によると、令和6年における全国の水難発生状況は、発生件数1,535件。水難者1,753人のうち、死者・行方不明者は816人であり、発生件数、水難者ともに過去10年間で最多を記録した。死者・行方不明者816人について、発生場所別にみると、海372人、河川288人。行為別にみると、「魚とり・釣り」が191人と最も多かった。また、死者・行方不明者816人の内、中学生以下の死者・行方不明者は28人であり、中学生以下の発生場所別にみると、半数以上が「河川」。中学生以下の行為別をみると「水遊び」が最も多かった。三次市では「巴峽三次かわまちづくり」を推進しており、市民や観光客の方々など、今後ますます河川に触れる機会が増えることが予想されることから、かわまちづくりの推進主体としても、水難事故に対する安全性を確保していく必要があると考える。そこで、まず三次市としての水難事故に対する危険性の認識を問う。 子ども達が川で水遊びを行う際、注意点がいくつかある。まずは、決して子どもだけで行かず、大人の引率をすること。そして、遠浅で水の流れが緩やかな場所を選ぶことである。しかし、注意しても水深が浅くても転んで溺れる場合や急に水深が深くなる場合もあることから、溺れる危険性から身を守るためにもライフジャケットの着用が有効である。市として、河川での水遊びなどの水に関わる場面でのライフジャケット着用の有効性についての見解を問う。 イ) ライフジャケットステーションの設置も含めた水難事故から命を守る対策の検討をすべきではないかと考えるが、所見を問う。 ウ) ライフジャケットステーションの設置も含めた水難事故から命を守る対策の検討をすべきではないかと考えるが、所見を問う。
	⑫	公明党	片岡 宏文	1 医療的ケアが必要な方へのサポートについて	(1) 医療的ケア児への支援について	ア) 医療的ケア児の災害時における個別避難計画はできているのか伺う。 イ) 医療的ケア児の避難訓練の実施の状況について伺う。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

子どもの未来応援						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
子育て	⑨	明日への風	徳岡 真紀	2 本市の発達支援に関する方向性について	(1) 本市のこれからの発達支援の方向性について	ア) 令和6年7月に改訂された児童発達ガイドラインを基準に支援に取り組んでいるか。
						イ) 本市で発達に不安を抱える場合、どのような流れで支援につながるのか伺う。
						ウ) 発達障害に関する啓発活動は行われているか。
					(2) こども発達支援センターの役割について	ア) 本市でのこども発達支援センターの役割は。
						イ) コロナ以降行われなくなった取り組みを具体的に伺う。
						ウ) アシスト事業やまんなか事業等、新たな取り組みの実績と分析は。
						エ) 保育所での支援の必要な子どもたちが療育的な保育を享受できているのか。
教育	①	日本共産党	伊藤 芳則	1 小中学校の再配置と給食費について	(1) 再配置計画の説明・意見交換のこれまでの経過と今後の進め方について	ア) 再配置計画の地域の不安解消はどうするのか。
						イ) 小規模校を選択して通学している児童への対応はどのようにするのか。
					(2) 再配置計画のスケジュールの公表のタイミングについて	ア) 河内地区において意見交換をしている最中に再配置ありきでスケジュールの公表したことで地域に不安をもたらしたのではないかと。
					(3) 小規模特認校制度の目的と内容について	ア) 設置は、どのような基準で場所や環境を決めるのか。
						イ) 早急に決定しなければ来年度の入学に影響することになるのではないかと。
					(4) コミュニティスクールの今後について	ア) 再配置になればこれまでのコミュニティスクールとの関係が崩れてしまうのではないかと。
						イ) まちづくりとの関係はどのように考えるのか。
						ウ) コミュニティスクールのモデル校として取り組んできた小学校こそ小規模特認校の候補にしてはどうか。
					(5) 学校給食の無償化について	ア) 物価高騰、米価高騰で給食費値上げに繋がらないかと。
						イ) 無償化が必要ではないかと。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

教育	②	三輝会	弓掛 元	4 学校再配置に関連する議案の修正に対する影響について	-	ア) 6月議会での47号議案の否決により今後の学校再配置の停止、遅延が想定されるがどのように進めて行くか伺う。			
	⑤	清友会	重信 好範	2 生徒の職場体験学習について	(1) 生徒の職場体験学習の成果等について	ア) 職場体験学習の成果について伺う。 イ) 進路選択にどのように活かされているのか伺う。			
					(2) 今後の職場体験学習のあり方について	ア) 今後生徒の意識も変化していくことが考えられるが、体験学習の質の向上について伺う。 イ) 体験学習の将来性や再配置後の体験学習実施についての考えを伺う。			
				3 物価高騰に対応した安心安全な学校給食について	(1) 食材費高騰に対応した学校給食について	ア) 食材費高騰に受け入れへの影響を伺う。 イ) 食材の量への影響を伺う。 ウ) デザート献立への影響を伺う。			
						(2) 地産地消の取組状況について	ア) 高温により野菜などの影響はないのか伺う。 イ) 地産地消率は目標通り達成できているのか伺う。		
							(3) 学校給食無償化について	ア) 本市独自策（小6・中3）への無償化はできないのか伺う。	
				4 小・中学校再配置の説明会について	(1) 再配置計画の説明会の課題等について	ア) 保護者・地域に寄り添った説明会になっていないのではないか伺う。 イ) 保護者から意見が出ている制服などの補助ができないのか伺う。			
						(2) 地域への影響について	ア) 地域との関係希薄化を防ぐために工夫が必要ではないか伺う。		
					(3) 教育環境が大きく変わることにについて	ア) 児童、生徒への環境変化について伺う。			
				⑦	明日への風	掛田 勝彦	2 本市の学校再配置の論点とこれからの教育について	(1) 閉校後の学校施設・跡地の活用策について	ア) 学校再配置の裏の肝にあたる内容が「閉校後の学校施設・跡地の活用」である。跡地活用について大枠の方針が示されないと周囲の住民は不安を感じてしまう。市長部局が「閉校後の学校施設・跡地の活用」について説明があるべきだと思う。今後、再配置対象校の地域に対して、跡地活用に関する説明の機会を設ける予定はあるのか。或いは具体的な内容も含めて進め方を問う。 イ) 将来の地域ビジョンを曖昧にしたままで学校再配置は本来するべきではないと考える。例えば、学校に依存しない地域づくりとはどういうものなのか。その際のまちづくりをどのように進めていくのか。その環境づくりについてはどうなのか。また、教育委員会と市長部局とが一緒になって学校の再配置を進めていくべきだと思うが、本市の見解を問う。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

教育	⑦	明日への風	掛田 勝彦	2 本市の学校再配置の論点とこれからの教育について	(2) 今後の通学区域自由化制度の考え方と本市が育む子供の力について	ア) 今回示された「三次市立小中学校のあり方に関する基本方針」に中学校の適正規模が示された。令和10年度には吉舎中学校へ三良坂中学校と甲奴中学校が再配置される予定である。その時点で、適正規模になると考えてよいのか。また、通学区域自由化制度が存在する以上、教育委員会が目ざす学校規模との整合性が取れなくなると考える。この点について、通学区域自由化制度の今後の運用方針について、教育委員会の見解を問う。
						イ) 通学区域自由化制度と、教育委員会が掲げる「適正な学校規模」の実現とは、両立（共存）が難しいのではないかと思う。現在の計画では、吉舎中学校を中心に学校の再配置を進めるとしているが、将来的にはさらに見直しが行われ、市街地（中心地）への集約が進む可能性もあるのではないだろうか。現在示されている基本方針自体も、近い将来に変更を余儀なくされることも考えられる。この点について、どのように考えているのかを問う。
						ウ) 今回の学校の再配置に関して、学校の規模感やそれに付随する教育環境の内容が議論されている。この案件に関わって、三次市の児童・生徒に「どのような教育を展開して、どのような力をつけていくのか」この議論も大いに論ずるべきである。再配置によって中学校の学区が広くなると、地域が主体的となって子どもを育てるという理念から遠ざかるのではないだろうか。この理念をどうすれば実現できるのか。教育委員会として具体的にどのようなことをイメージされているのかを問う。また、「三次市の子どもたち」に、どのような教育を提供したいのか」「どんな力をつけていきたいのか」具体的な内容をもって、生徒や保護者・地域の住民に対して説明をすることが求められていると思う。その内容を問う。
	⑧	明日への風	藤岡 一弘	1 水難事故防止の取組について	(2) 子どもの水難事故防止の教育について	ア) 自然災害の増加や水難事故の発生の増加を受けて、水の事故から命を守る教育が注目されている。まず、本市における水難事故防止の教育の必要性について認識を問う。
						イ) 水の事故から命を守る教育として、小学生を対象とした「着衣水泳」の授業は、万が一の際に落ち着いて行動する力を育てる命の授業として、全国多くの学校で実施されるようになっている。着衣水泳とは、衣服を着たまま水に入ること、で、「服が濡れた状態で水に落ちるとどうなるか」「どうやって浮いて待つか」などを体験し、実際の事故場面を想定した対応力を育てる学習活動であり、水着で泳ぐ通常の水泳とは大きく異なり、防災教育や安全教育の一環として位置づけられている。この着衣水泳を、日本赤十字社などと協力し、毎年実施している学校もあるが、全ての小学校で実施していくことを検討すべきではないかと提案するが、所見を問う。
				2 三次市立小中学校のあり方に関する基本方針及び小中学校の再配置について	(1) 三次市立小中学校のあり方に関する基本方針及び小中学校の再配置説明会の状況について	ア) 三次市立小中学校のあり方に関する基本方針及び小中学校の再配置説明会の開催について、説明会を開催されている目的を問う。
						イ) 説明会を各地域で開催されているが、地域によってだされた意見や質問は様々である。再配置による通学や制服などの環境面への不安の声や児童・生徒への影響を心配する声と言った不安の意見・質問だけでなく、再配置自体に反対の声や地域が衰退するのではないかと声など再配置計画に賛同できない意見・質問なども多くだされていた。これまでの説明会の中でだされた意見や質問を教育委員会として、どう分析し受け止めているのか問う。
						ウ) 説明会で保護者や地域の方々からだされた意見や質問内容を教育委員会会議で共有されているのか。そして、その意見や質問への対応として、教育委員会会議で協議する必要はないのか、所見を問う。
					(2) 児童生徒・保護者・地域との合意形成と今後の理解を求める取組について	ア) 学校の再配置について、児童生徒・保護者・地域など関係者から、合意や理解を求める上で、どのような事柄をもって、合意や理解を得られたと判断するのか、三次市の考える判断基準を問う。
						イ) 説明会でも「理解と協力を得た上で計画を進める」と言われているが、このままの進め方では、保護者や地域からの合意が難しい場面もあるのではないかと考える。三次市として、今後の「理解」を求める取組の計画を問う。
(3) 「新しい学校をつくる」考えについて					ア) 各地域での説明会の中で、「新しい学校をつくっていく。」と言う説明がされていた。この「新しい学校」とは、どのようなことを想定しているのか問う。	
					イ) 広い規模での学校の再配置では、閉校となる学校の文化や取組など、学校としてアイデンティティを反映させなくてはならないと考える。さらに、学校区も大きく変更となることから、その状況に合った学校にしなければならないのではないかと考える。具体的には、学校名や校歌などを新しく再配置された状況や環境に合わせたものを考えていくことである。むしろ、三次市全体の再配置計画推進にあたり、児童・生徒に「新しい学校」を考えてもらう機会は、地域という枠を超えた、学びの共創になるのではないかと考える。再配置計画を進めるのであれば、三次市の地域全体で再配置が行われることから、今後どこかのタイミングで、校名や校歌など一から「新しい学校をつくる」ことを検討すべきではないかと、三次市の考えを問う。	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

教育	⑧	明日への風	藤岡 一弘	2 三次市立小中学校のあり方に関する基本方針及び小中学校の再配置について	(4) 小規模特認校制度設置方針について	ア) 「小規模特認校制度」とは、豊かな自然環境や小規模学校の特色を生かし、児童一人ひとりに目が届くきめ細やかな教育を提供することを目的とした制度であり、三次市では小中学校再配置計画策定にあたり、令和9年4月からの開校が計画されている。三次市で設置される小規模特認校の概要についての詳細はまだ決定していないで分からない部分も多いが、各地域の説明会では、小規模特認校は、完全複式の小学校を小規模特認校としては設置しない方針と三次市内では1校設置する方針であることが説明されていた。まず、完全複式の小学校を小規模特認校として設置はしない方針について、ということなのか。方針内容の説明と理由を問う。
						イ) 小規模特認校の設置数について、複数設置されている自治体もある中で、三次市では1校のみの設置にするという判断をされた理由を問う。
	⑨	明日への風	徳岡 真紀	1 こどもたちを熱中症から守るための取組について	(1) 幼保・小中学校での熱中症対策について	ア) 幼保・小中学校それぞれで行われている具体的な熱中症対策は。
					(2) 熱中症対策に対する学校の設備について	ア) 冷水器、もしくはウォーターサーバーの設置状況を問う。
						イ) 全小中学校への冷水器等の設置の検討はされているか。
						ウ) 全小中学校ハスポットクーラーを2台ずつ設置されたがその効果と課題を問う。
						エ) 現状の課題に対するの対応策を問う。
						オ) 体育館への冷房設備の導入予定を問う。
					(3) 登下校時の熱中症リスク回避の取組について	ア) 登下校時の熱中症対策を問う。
						イ) 熱さのピークである2時から3時代での下校をどのように考えるのか。
ウ) 通学の荷物の軽減化への取り組みは行われているのか。						
2 本市の発達支援に関する方向性について					(3) 切れ目ない支援体制について	ア) 幼児期に作成された個別支援計画・サポートファイルは、小中高、就職までどのように活用され更新が行われているか。
	イ) 本市の切れ目ない支援とは。					
	(4) 発達障害を持つ子どもたちへの学校等での合理的配慮について	ア) 発達に支援の必要な子どもたちに対して具体的にどのような配慮が行われているか。				
		イ) 支援員への研修や個別支援計画の情報共有などは行われているのか。				
3 不登校児童生徒の被る不利益について	(1) 現在の本市の不登校児童生徒への取組について	ア) 不登校児童生徒の現状は。				
		イ) 保護者の会は機能しているのか。				

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

教育	⑨	明日への風	徳岡 真紀	3 不登校児童生徒の被る不利益について	(2) 不登校児童生徒の健康管理について	ア) 不登校児童生徒の定期検診等の受診率を伺う。
						イ) 案内や促しなどはどのようになされているのか。
						ウ) 検診が一般の病院でできる配慮や医療費の補助の考えはあるか。
					(3) 不登校児童生徒にかかる金銭的負担について	ア) 不登校児童生徒に対する金銭的な負担についてどのように把握されているか。
						イ) 給食費や教材費の負担軽減の措置はあるのか。
						(4) 学びの選択肢の拡充の予定について
	イ) 夜間中学の設置の考えはないか。					
	⑩	明日への風	増田 誠宏	2 教育行政に係る諸課題について	(1) 三次市学校給食共同調理場の運営に係る今後の方針について	ア) 統合計画の進捗と課題について伺う。
						イ) 調理業務の民間委託はどのように検討されているのか。
					(2) 放課後児童クラブの今後の運営について	ア) 民営化で利用料や運営品質はどうか。
イ) 民営化後も災害対応は確実に行えるのか。						
(3) 教育委員会の運営及び教育行政の評価体制について					ア) 教育委員会会議の位置づけと役割を問う。	
					イ) 教育委員の責務と教育委員会会議への出席状況を問う。	
				ウ) 教育委員の政治的行為の制限について、どのような認識なのか。		
				エ) 政治的中立性についてどのように周知徹底しているのか。		
オ) 教育に関する事務の点検・評価はどのように実施しているのか。						
				カ) 点検・評価の公表とどのように活用していくのか。		
3 三次市立小中学校の統廃合について	(1) 再配置計画の議論経過と地域社会への影響について	ア) 教育委員会会議での議論の経過について伺う。				
		イ) 各地域での質問・回答内容の共有をすべきではないか。				

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

教育	⑩	明日への風	増田 誠宏	3 三次市立小中学校の統廃合について	(1) 再配置計画の議論経過と地域社会への影響について	ウ) 学校統合が地域経済に与える影響について伺う。
						エ) 学校が地域からなくなることが子育て世代の移住定住に与える影響について伺う。
					(2) 小学校における長時間通学及び再配置計画の見直しについて	ア) 遠距離・長時間通学のどのようなデメリットがあるのか、児童にどのような影響があるのか。
						イ) 長時間通学のデメリット解消の見込みはあるのか。
						ウ) 子育てにおける、地域の生活基盤を断ち切ることにならないか。
						エ) 再配置対象校における学力保障の状況について伺う。
						オ) 再配置計画の見直し基準はどうなっているのか。
						カ) 基本方針による取り組み期間と対象校の再配置をどのように進めていくのか。
	キ) 地域住民の声をどう受け止めたのか。さらに、市民との対話と透明性ある行政運営をどのように進めるのか。					
	⑪	会派 未来	竹田 恵	1 三次市立小中学校の再配置における諸問題について	-	ア) 8月末時点での関係機関との協議状況について伺う。
						イ) 協議で提起された具体的意見と、それに対する答弁を伺う。
						ウ) 協議によって新たに生じた課題について伺う。
				2 放課後児童クラブの民間委託方針について	-	ア) 公営と民間の相違事項について。
						イ) 支援員との交渉について。
ウ) 雇用・処遇について。						
					エ) 利用者への説明について。	
					オ) 民間委託の時期について。	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

教育	⑫	公明党	片岡 宏文	2 教育環境の取組について	(1) 学校施設及び体育館の整備に対する考え方について	ア) 学校施設の老朽化対策事業の今後の計画を伺う。
						イ) 体育館の整備計画について伺う。
						ウ) 体育館の空調設備整備計画について伺う。
					(2) 学びの多様化学校の目的等について	ア) 9年度に開始するにあたりどのようなスケジュールで行われるのか伺う。
						イ) 決定プロセスについて伺う。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

豊かな心といきがい								
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目		
芸術・文化	-							
スポーツ	③	三輝会	細美 克浩	3 スポーツ施設について	(1) プロ野球セントラルリーグ一軍戦の開催について	<p>ア) 数年前まで2年に1回プロ野球セントラルリーグの1軍戦が電光石火さんさいスタジアムで開催されていた。今年は2軍戦が開催されているが、数多くの市民の方が1軍戦の開催を期待されている声をよく耳にします。今後の見通しは。</p> <p>イ) 収容人数確保のための整備計画はないか伺う。</p>		
					(2) みよし運動公園運動広場の整備について	<p>ア) 人工芝が整備され、今後全国レベルの大会が開催されることが想定されると考えるがフェンス（10m程度）整備の考えはないか伺う。</p> <p>イ) 出入り口の数を増やす計画はないか。</p>		
	②	三輝会	國重 清隆	2 スポーツコミッションと地域活性化について	(1) 女子野球タウンの取組における波及効果等について	<p>ア) 「三次スポーツコミッション」を中心に、スポーツを軸とした地域や経済の活性化や、女性活躍を推進すると述べられているが、三次ブラックパールズは別として、スポーツの女性活躍はどのように推進されているのか伺う。</p> <p>イ) 女子野球の裾野を広げるということを考えると、小学校、中学校で取組も必要と考えるが、現状はどのようなになっているのか伺う。</p> <p>ウ) 三次ブラックパールズの現在の部員数が何名で、専用グラウンドはどこを拠点に活動されているのか。また、現状で十二分に活動できているのか伺う。</p> <p>エ) 三次ブラックパールズは社会人野球で、企業等の協力が必要であるため難しいが、もう少し部員数が増加すればと思う。部員数が増加するための取組はどのようにされているのか伺う。</p> <p>オ) 裾野を広げる取組の提案となるが、高校で野球チームができれば、野球を求めて三次市内の高校への入学者が多くなればと考える。市として、市内3校へ野球部の創設を働きかけることはできないか伺う。</p>		
						(2) スポーツ施設の維持管理について	<p>ア) 三次市内には学校施設を含め、スポーツ施設が多くある。小学校施設、中学校施設、社会体育施設で、体育館はそれぞれどれだけあるのか伺う。</p> <p>イ) 体育館の雨漏りであったり、カーテンが切れ切れになったりという市民からの声がある。現在、施設の維持修繕は、計画的に点検したり、学校からの修繕要請にどのように対応されているのか伺う。</p> <p>ウ) 屋根の修繕をおろそかにすると、雨漏りによって、施設そのものが痛んできて、結果的には修繕費が高額となる。市として早急に対応すべきと考えるが、学校からの修繕要請の対応、社会体育施設は市が自ら点検して修繕すべきと考える。所見を伺う。</p>	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

いきいきとした地域						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
定住・交流	②	三輝会	弓掛 元	1 三次地区の諸問題について	(2) 三次地区にぎわいの創出について	—
	④	三輝会	國重 清隆	3 共創のまちづくりについて	(1) 企業版ふるさと納税の現状と成果について	ア) 今年度のふるさと納税と企業版ふるさと納税の件数と納税額、併せて、企業版ふるさと納税の今年度納税予定見込み額も伺う。
					イ) 市長は、「企業版ふるさと納税が本市の取組を応援していただくきっかけとなるようサポート制度を創設し、ツナガリ人口の拡大につなげる」と述べている。その成果について伺う。	
	①	会派 未来	竹田 恵	1 三次市立小中学校の再配置について	—	エ) 学校の統廃合に伴う地域の活性化の在り方について、具体的方針を伺う。
				3 定住・移住対策について	—	ア) 広島県の方針を踏まえた取り組みの連携について
住民自治	③	三輝会	細美 克浩	1 各地域で管理運営されている集会所への助成等について	(1) 集会所への管理運営費助成等について	ア) 上水道を使用されている集会所の件数は。
						イ) 高齢化等により止む無く転出される方や常会を脱会される方が増え、各常会で使用されている集会所の管理運営がかなり負担となっている常会が増えてきているが、今後助成の考えがあるか伺う。
						ウ) 水道料金助成の考えはないか伺う。
						エ) 水道広域連合企業団へ料金改定の要請をする考えはないか伺う。
						オ) 下水道料金の統一の考えはないか伺う。
	④	三輝会	國重 清隆	3 令和7年度の重点方針について	(2) 共創のまちづくりに向けての取組状況等について	ア) 国は、関係人口の創出・拡大と魅力的な地域づくりを実現するため、2地域居住を促進し、市町村を中心とした居住環境の整備等を国が支援するとある。市として2地域居住を促進する考えがあるか伺う。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

活力ある産業						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
農林畜産	①	日本共産党	伊藤 芳則	3 持続可能な農業について	(1) 農地転用による農地面積の減少に対する市の考えについて	ア) 「地域計画」から農地の集積・集約化をどのように進めて行こうとしているのか。
						イ) 農地転用に伴う太陽光発電設備設置の規制の強化が必要ではないか。
	④	三輝会	國重 清隆	1 持続可能な農林振興業について	(1) 中山間地域支交代付金事業の実績と今後について	ア) 中山間地域支交代付金事業は5年が一区切りになっており、前期事業は令和6年度が最終年となるが、令和2年度から6年度までの交付金対象の取り組み集落数、耕作面積と交付金額を伺う。また、事業に取り組まれていない面積はどの程度あるのか伺う。
						イ) 中山間地域支交代付金事業は令和7年度からの取り組みとなるが、新たに変更となった点はどのようなことがあるのか伺う。
					(2) 鳥獣被害防止対策について	ア) 地域や個人でも獣被害対策を行っているが、対策経費が農業経営に大きな負担となっている。個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理の三点に対する支援はどのようになっているのか。また、農家等経営体がどの程度活用されているのか伺う。
						イ) 中山間地域支交代付金事業に取り組んでいる集落へは、鳥獣被害防止策の研修が実施されているところであるが、急傾斜、緩傾斜でもない圃場や事業に取り組んでおられない地域でも鳥獣害の被害はあると考える。その地域、集落への研修はどのようにされているのか伺う。
						ウ) 今年4月から「広島県鳥獣対策等地域支援機構」、通称「テゴス」に加入し、活動されているところである。市内全体にはまだ周知はできていないと考えるが、活動はまだ5カ月間だが、今日までの活動状況、捕獲に対する現地調査や指導がどのようにされているのか伺う。
					(3) (仮称)みよしアグリパークの整備状況等について	ア) アグリパークの用地は順調に進んでいると思われるが、いつ完成するのか、また、現在の状況がわからない。アグリパーク全体の進捗状況を伺う。
						イ) アグリパークは完成後、官民連携で聞いている。完成後の姿はどのようになり、どのような形態で運営されるのか伺う。
					(4) 三次市農業振興プランの成果と課題について	ア) 第二期の農業振興プランの成果と課題について、どのように整理されているのか伺う。
	イ) 令和6年度においては、作付面積が82ヘクタール目安を下回るという状況であったが、令和7年度の状況はどのようになっているのか伺う。					
	ウ) 最近の報道によると、コメの生産調整はやめて、コメの増産に舵をきるといった報道がある。地方自治体へ、その方向性の通達等はあったのか伺う。					
エ) 現在、第3期三次市農業振興プランを策定されていると思うが、今後の持続可能な農業をどのように第3期三次市農業振興プランに反映させ、農業者に示し、農業振興を図ろうとされているのか伺う。						
⑫	公明党	片岡 宏文	3 農業振興について	(1) 稲作農業の振興について	ア) 高温によりお米の品質低下がある中、本市での耐熱品種への変更推進に関する考えを伺う。	
					イ) 政府が乾田直播に補助金による普及を考えているが本市での考えを伺う。	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

商工	②	三輝会	弓掛 元	3 企業支援・誘致について		ア) 今後の企業支援，誘致，産業振興ほかの計画を伺う。
	⑦	明日への風	掛田 勝彦	1 本市の今後の財政運営と投資等について	(1) 一般財源確保に向けての投資と民間活用について	エ) 最近のトレンドは「共創」であり，地方創生2.0の考え方にも示されている。企業や地域の企業と自治体がどのように連携していけるのかが重要である。今後，積極的に政策判断として民間の力を活用する考えがあるのか。企業と共創する考えがあれば具体的な内容を伺う。また，本市が担うべき役割について伺う。
	⑩	明日への風	増田 誠宏	1 周辺地域の施設における将来展望について	(1) 地域拠点施設の今後の整備について	ア) 地域拠点施設の再活性化に向けた方向性について伺う。
						イ) 施設整備をどのように進めるのか。
⑫	公明党	片岡 宏文	4 商業の活性化と観光事業について	(1) 商業の活性化について	ア) 小規模事業者経営持続支援補助金の採択率と今後の方針について伺う。	
観光	②	三輝会	弓掛 元	5 観光振興の進捗状況について	—	ア) 令和7年度の施政方針から進捗状況を伺う。
	⑫	公明党	片岡 宏文	4 商業の活性化と観光事業について	(2) 観光事業の今後の取組について	ア) 新しい体制でのきんさい祭りの総括について伺う。
						イ) 三原市では祭り振興協議会が大きな祭りの運営を担うようになったが，本市での考えを伺う。
ウ) 女子野球タウンとして認定されているが，女子に限らず野球の町として観光事業を盛り上げられないか伺う。						

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和7年9月定例会】

その他						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
その他	⑦	明日への風	掛田 勝彦	1 本市の今後の財政運営と投資等について	(1) 一般財源確保に向けての投資と民間活用について	ア) 令和3年11月に示された三次市長期財政計画では、来年度の令和8年度に経常収支比率が100%を超えるとの記載があった。その後も99%台が続く見込みである。住民ニーズ（要望）が多様化して増大している中で、今後の財政運営についての考えを問う。
						イ) 人口減少が進むと税収入が減り、今後財政縮小社会になると考える。コストカット型の自治体運営は限界にきている。人口が減少する。税収入が減少する。代替財源は何か。新たに自治体がお金を稼ぐ方法を考えることが必要で、一般財源をどう増やすのかが問われていると考える。そのためには投資が必要だと思うが、本市は税収入をどのように増やしていくのか。このような考えがあるのかどうか。あるのであれば、一般財源を増やす観点で本市はどこに投資を考えているのか。その内容を問う。
						ウ) 閉校した学校の跡地に対して、民間の活力や産業の力を取り入れた活用が必要である。1つの例として、地域が自立して運営できるような、収益や雇用を生み出す仕組みを構築することも必要ではないか。今後、閉校が増えることが予想される中で、今の段階から調査・研究を進めるべきだと思うが、本市の考えを問う。
	⑩	明日への風	増田 誠宏	1 周辺地域の施設における将来展望について	(2) 指定管理施設における管理運営と役割分担について	ア) 指定管理制度の課題をどう解決していくのか。
						イ) 指定管理施設における役割や責任の分担をどのように整理されているのか。
	⑫	公明党	片岡 宏文	5 参議院議員選挙の振り返りについて	(1) 参議院議員選挙の総括について	ア) 参議院議員選挙での開票作業のミスの原因と今後の対策は。
イ) 3カ月ルールで投票できなかった人はいないのか問う。						
ウ) 市外在住者の不在者投票の申込数について問う。						
(2) ポスター掲示板の再利用について						ア) ポスター掲示板の利用後の処分方法について問う。